

# アイロベックス 通信

住所 新宿区新宿5-17-17 渡菱ビル3F  
電話番号 03-3232-2525  
URL <http://www.ilovex.co.jp/>  
発行者 株式会社アイロベックス



平成22年2月 Vol.53



一番言いたいことは何？

## 人に伝える技術

杉山 淳子

日ごろ、ブログを書いたり、文章を書いたりすることが多いので、書くのは得意なほうではないか？と内心思っていました。

ところが、話すとなると、社員全員に語る場合など本当に言いたいことが伝わっていないことが多いことに気づきます。「考える技術・書く技術」というダイヤモンド社から出版されている、ビジネス書としては定番中の定番の本を使い社内セミナーをやっているのですが、教えている自分が一番身にしみて考えさせられる本でした。

人に伝えるためには、表現する技術も必要なのですが、一番重要なことは、自分が本当に一番言いたいことは何なのかをまず、**自分に聞いて確信すること**が必要です。

実際、日々の生活の中では自分の考えがまとまらないうちに他人に話しかけてしまったり、また、話をしている中でアードコーダと考えが変わることもあります。

自分が本当に重要だと思うこと、伝えたいことは何なのか？をまず一つだけ決める。そこから、相手に伝えるために具体的にどのように話すか？自分の言いたいことをどンドン話すのではなく、**相手が知っていることをきっかけに、興味を持って**くれるように論理的に構成して話すことが必要なのだ、と頭では理解しました。

それにしても、欲張りな性格なので伝えたいことが多すぎるのがまず問題です。

人に伝える技術と聞いて、3つのキーワードが浮かびました。

### 思いやり

技術以前の話ですが、まず何よりも「思いやり」を持つべきであると感じます。相手の気持ちになって考える（想像力を働かせる）ということです。

### 具体性

思いやりを持てば、より具体性のある話の方が伝わり易いということに気付くはず。図、絵などを用いたり、例え話をしたり、他と比較したり……。具体性がない場合は、自分の意見や想像での話しをしたり……。

私は、とにかく相手の頭の中にその情景が思い浮かぶような表現を心掛けます。

### 感情

「伝える」というニュアンスと少し違いますが、相手の記憶に働きかけるという意味では、感情を刺激することが大事であり、感情が伴っていると長く記憶として残るはず。例えば子供の頃、親や先生から強く叱られた記憶など、今でも覚えていたりします。それは、一時的な恐怖心なり、罪悪感なり、反抗心なりを抱いていたからで、理屈だけ伝えられてもすぐに忘れてしまっていたと思います。

文字通りちょっとした「感動」と共に情報を伝えられれば最高ですし、自分自身そうありたいと思っています。



伝えるには  
思いやり、具体性、感情

## 3つのキーワード

見並 圭一

まだ、間に合う！  
3月末納品の仕事請け負います。

お電話ください。すぐに駆けつけます。

03-3232-2525 (担当：くろき)

HPはこちら→ <http://www.ilovex.co.jp/>



最近増えているお問合せ  
・AccessやPHPで開発されたシステムの改修  
・Webアプリケーション開発  
・帳票の改修  
などなど…



相手に何を伝えたい？  
相手を動かしている？

内容を伝えるという意味では、1つ目の文章で充分です。私は、最近まで1つ目のような簡潔な文章が好きでした。しかし、最近は、2つ目の文章を書くことにこだわっています。記事を書こうというモチベーションを上げてくれるような文章です。「そんなこと言われたら、やってやりたいと思うじゃないの…」と思わせる。文章は内容を的確に伝えればよいのではなく、**文章の先にある読み手を動かすことが重要だ**という考えに変わりました。

最近、修飾文・修飾語をつけて文章を書くことにこだわっています。「なぜ」や「どんな」ということを書く。文章は長くなり、読み難くなることもあります。それでも、思いの迫力で圧倒して気持ちを伝える方が、はるかに重要なことではないでしょうか？用件が伝わったとしても、相手を動かさなかったら意味がないのです。相手を動かすためには、感情に訴えかけることです。感情に訴えかけるためには、背景や考えをしっかりと伝えることが重要です。もう一度、自分が書いた文章を読み返してみましょう。それで、相手はあなたが思った行動をとるかどうかが。

私は、「考える技術・書く技術」というテーマで行われた朝講習(以下、杉山塾)に参加しています。講師は弊社代表のルーシーこと杉山です。

特に印象に残ったのは、人に物事を伝える時の**“ピラミッド構造”**についての講義です。

以前、人に話すときに以下のような経験をしたことがあります。とにかく思いついたことを次々と話してしまい、結局何が言いたかったのか、自分でもよくわからなくなったという経験です。

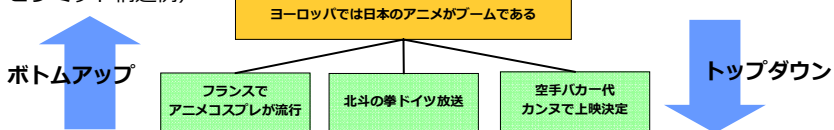
なぜそのようなことになったのか考えてみたところ、講義で習った**“ピラミッド構造”**で伝えるということができていなかったのではないかと思います。

ピラミッド構造とは、ピラミッドの頂点に伝えたいことの要約を置き、頂点から下の階層に伝えたいことの詳細を置くという構造です。

物事を考えるときは、**ピラミッドの下層から考えます。**(ボトムアップ)

物事を伝えるときは、**ピラミッドの頂点から伝えます。**(トップダウン)

ピラミッド構造例)



図の下層3つのキーワードから伝えたいことを要約するとピラミッドの頂点は「ヨーロッパでは日本のアニメがブームである。」となります。逆に物事を伝えるときは、ピラミッドの頂点である「ヨーロッパでは日本のアニメがブームである。」から先に述べ、詳細を3つのキーワードで表現します。

相手に色々話すぎて伝わらなかったのは、言いたいことを先に伝えるというトップダウン方式で話ができなかったことが原因だったのです。「何を伝えたいのか」→「なぜそうなのか」この順序で相手に伝えることが大事だったのです。

まさに“ピラミッド構造”は人に伝えるための基本構造であり、以前の自分に足りないものだったと確信した1日でした。



すべては  
ピラミッド構造にあり

## トップダウンで伝える

岡部 将宏

↑講義で利用した『考える技術・書く技術』原著：山崎康司

## アイロベックスは20歳(はたち)になりました

おかげさまで2010年1月24日で、アイロベックスは、創立20年を迎えました。

社長からは手作り！ではなく、高級弁当が支給されました、お昼休みにはあちらこちらで弁当の写真を撮る姿が見られました。

社員からは感謝の気持ちを込めて、花束とケーキを贈りました。

今後もお客様への感謝の気持ちを忘れず、システム開発に努めてまいります。

皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。



アイロベックス通信は  
弊社HP上からもダウンロード頂けます。

URL ↓↓↓  
<http://www.ilovex.co.jp/info/newsletter/>

総編集：エリザベート石塚  
デザイン：ジンジャー牧野  
写真：ツマモコモ黒木  
スイートピー鈴木

HAPPY  
ANNIVERSARY!